# 仙台市｜仙台MaaS推進に係る機能向上事業

2026/03/06

## 目的：移動体験価値の向上とサービス運営の高度化

- やまがたMaaSとの連携や、認証・決済機能の拡充、観光施設とのシステム連携及び参画事業者拡大による新たなチケット造成等を通じて、仙台MaaSの市民認知拡大や、公共共通利用機会の創出を図る。
- 取得したデータを、BIツールで分析し、得られた示唆をもとに施策立案を行う。

## 事業内容：仙台MaaSの総合的な機能強化

【交通サービスの高度化】

・仙山MaaSの特設サイトを開設し仙台及び山形MaaSのリンクを設置したほか、仙山周遊促進事業として両MaaSで販売するチケットを一部共通化した。

・仙台駅をはじめとする地下鉄主要駅（6駅）に、QRコードで入退場可能な改札機を11台導入した。

・仙台MaaSでチケットを購入するための決済手段にGooglePay、ApplePayを追加した。

・市民向けポータルアプリ（SENDAIポータル）とシングルサインオン（SSO）連携を実施した。

【モビリティデータの取得・活用】

・取得した利用実績や回遊動線データをBIツールで分析し、その結果を参画事業者及び行政機関で構成する仙台MaaS運営委員会や個別の事業者との協議の場で共有し、施策検討に活用した。

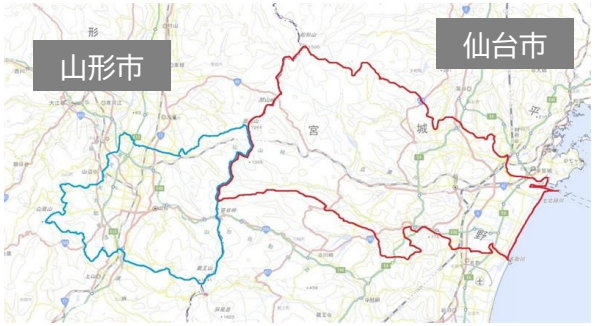
【エンドコンテンツとの連携】

・チケットHUBとのAPI連携を実施し、仙台MaaSで施設への直接入場が可能になった。参画事業者も拡大し交通と施設のセット券造成が可能になった。

## 効果：利便性向上と分野横断連携の推進

- 課題：公共交通の利便性の認知不足、サービス改善におけるデータ活用の不足、公共交通と観光施設の連携の未発達
- 効果：本事業の実施により公共交通の利便性が向上し、利用者アンケートでは85%が満足と回答した。また、QR改札機導入を契機とした業務見直しにより業務効率が改善したほか、交通と施設を組み合わせた企画券を15種造成するなど、交通と観光の連携したサービス展開が進展した。

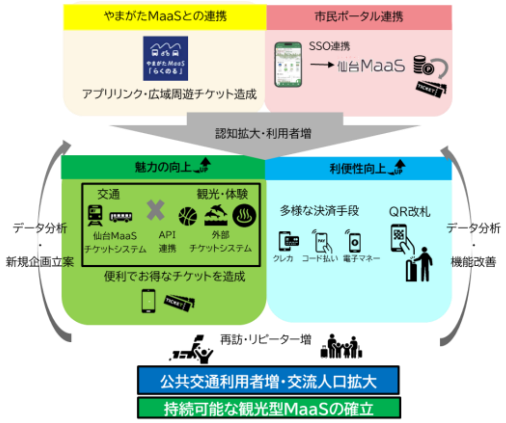
【実施エリア】




| | | |
|---|---|---|
| 1 | 仙台市交通局 | 鉄道・バス |
| 2 | 宮城交通 | バス |
| 3 | タケヤ交通 | バス |
| 4 | 愛子観光バス | バス |
| 5 | NTTドコモビジネス | 自転車 |
| 6 | ドコモバイクシェア | 自転車 |
| 7 | 宮城県タクシー協会 | タクシー |
| 8 | 山交バス | バス |

▲山形のバス乗車券を取扱開始

【本事業の取組の全体像】







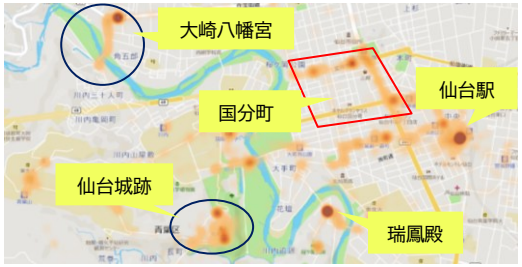



【地下鉄へのQR改札機導入】



▲これまで目検だった利用券のQR対応

【BIツール活用によるクロス分析】




▲特定の観光地に集中する回遊動線の分散化等に活用

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

# プロジェクトの効果

## 課題に対する効果

| # | 課題 | 効果 |
|---|---|---|
| 1 | 仙台MaaSの利用環境は、認知度の低さや決済手段の制約、地下鉄での目視確認に伴う駅務員の業務負担等複数の課題があり、仙台・山形間の移動も含めて公共交通への利用転換が進んでいない。 | QR改札機の整備により、駅務員の業務負担を軽減し87.8%からポジティブな評価を得た。また、「仙台-山形周遊企画」による、新たなチケットの販売や、仙台及び山形での広報を実施することにより、547枚のチケットを販売、公共交通による周遊機会を創出した。 |
| 2 | 新規チケットの造成や既存チケットの見直しにあたって、利用者の移動実態や属性データの利活用が必要であるものの、十分に活用されていない。 | データを活用した示唆をもとに、仙台MaaS運営委員会の場や個別の事業者との意見交換を実施し3件の商品改善につながった。 |
| 3 | 外部チケットシステムと連携がないため、当該施設のQRチケットが造成できない。<br>観光事業者と交通事業者の分野横断的なサービス検討が進んでいない。 | 外部チケットシステムとのAPI連携を実施、仙台MaaSで購入したチケットで施設に直接入場できる「うみの杜水族館入館券」を新規販売したほか、複数の事業者が連携した15種の企画券を造成した。<br>またお得感のあるチケットを造成したことにより、利用者のサービス満足度85.2%の好評価を得た。 |

## KPI

【凡例】 **赤字：目標達成**　**青字：目標未達成**

| # | 測定項目 | KPI | 計測方法 | 計測頻度・回数 | 事業実施年度の目標値 | 最終結果 | 達成/未達成の原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | QR改札導入による業務効率化 | 駅務員評価 | アンケート | 年2回 | アンケート回答の80% | **87.8%** | 導入にあたって、駅務員の現場課題をヒアリングし運用を整理したことで、目標を達成した。 |
| 2 | 広域周遊の促進 | 仙台-山形周遊チケットの販売数（累計） | データベースを確認 | 毎月 | 500枚 | **547枚** | 仙台-山形の広域周遊を促す新たなチケットを造成し、各種広報を実施することにより目標を達成した。 |
| 3 | 商品開発・改善に係るデータ利活用 | 商品開発・改善数（累計） | 事業者ヒアリング | 年1回（2月集計完了） | 2件 | **3件** | チケット販売実績や回遊戦動線をBIツールにより分析し、事業者に提案することで商品の改善につながった。 |
| 4 | 仙台MaaSアプリ力向上 | 企画券の造成数（累計） | データベースを確認 | 年1回 | 5種 | **15種** | 参画事業者の拡大や、公共交通での来場ニーズを抱える施設と連携によって、企画券の造成目標を達成した。 |
| 5 | 利用者の利便性向上 | 利用者のサービス満足度 | アンケート | 年1回（2月集計完了） | アンケート回答の70% | **85.2%** | 機能改修やお得感のある新規チケット造成の結果、目標値を上回るサービス満足度につながった。 |

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.